



横須賀芸術劇場天井改修が完了しました。

大劇場



ホワイエ



大リハーサル室

DATA

敷地面積 : 10,408.36㎡
 延床面積 : 23,339.83㎡

構造・規模 : SRC造、一部鉄骨造、
 大ホール棟：地下2階、地上8階

最高高さ : 34.8m
 主なスパン : 6.4m×6.4m

設計期間 : 2023.3～2024.1
 工事期間 : 2024.12～2026.4

既存設計 : 丹下健三・都市・建築設計事務所

TOPICS

施工者技術と協同した柔軟な監理対応
 改修工事特有の既存建物情報不足により、設計、施工条件一部見直し等が生じる中で、施工者技術による劇場の3Dスキャン・モデル化を行うことで、既存情報の正確な把握、施工の安全性確認及び工事品質の確保をスムーズに実施することが可能となり、工事工程計画を遵守し無事に竣工を迎えられました。

CONCEPT

意匠性を引き継ぎ、機能を向上させた特定天井改修

本計画は、約30年前に竣工した横須賀芸術劇場の特定天井及びその他改修工事です。劇場は、平土間席を4層のバルコニー席が囲む華やかな馬蹄形劇場として、丹下建築都市設計事務所の設計により誕生しました。多くの市民にとって誇りとなってきた劇場の意匠を引き継ぎながら、安全な劇場に改修することはもちろん、音響性能の向上、既存の雰囲気や踏襲した照明器具・調光システムの更新、バリアフリー対応、トイレやサイン改修などにより機能を向上し、より使われやすい劇場へ改修を行いました。

適材適所の特定天井改修方法の選定

改修対象範囲は大劇場、ホワイエ、大小リハーサル室です。改修による建物構造への影響、施工性、音響への影響等を比較し、それぞれの条件に合わせた構造方法を選定しています。（大劇場：準構造化、ホワイエ：準構造化、大小リハーサル室：遮音天井、ブレース付耐震天井）

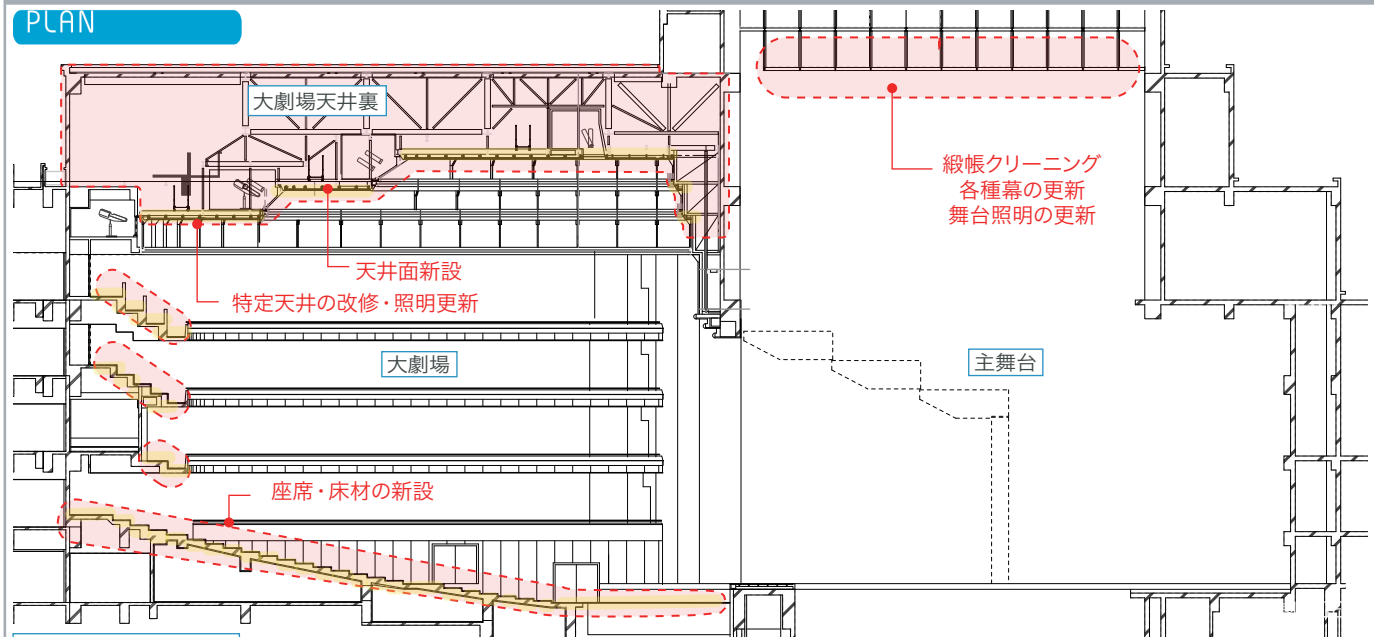
132



リハーサル室天井裏

大劇場天井裏

PLAN



大劇場断面図 S=1:400

写真：GlassEye Inc.

▶ <http://www.nissoken.co.jp>